

3DA モデルの国内外最新動向

～ ものづくり現場はどう変わるのか ～

これまでのものづくり現場では、設計者が 3D CAD で設計した場合であっても、加工・検査等の各工程で必要な情報を盛り込んだ 2D の紙図面による補完が必要でした。各工程では、作業者が 2D の紙図面を併用しながら、人の目で判断しながら加工や測定プログラムの作成をすることがあたりまえであり、3D データとの齟齬が生じることもしばしばでした。

しかし、3DA モデル (3D-Annotation model) と呼ばれるモデルの規格化により、これらの状況が変わりつつあります。従来の STEP に PMI (製品製造情報) を付与した「STEP AP242」の他、米国の非営利団体 DMSC により「QIF」規格が作成され、ANSI、ISO から発行されました。

当センターでは、3DA モデルに関する国内外の最新動向を紹介するセミナーを開催します。この機会に是非御参加ください。

日 時	令和5年12月12日(火) 13時30分～15時00分
開催方式	ハイブリッド(会場 及び オンライン(Zoom) 併用) ※講師は、会場にて講義予定です。
会 場	京都府産業支援センター 5階 研修室 (〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134 京都市リサーチパーク東地区内)
内 容	

【講師】 **中村 聡 氏** / QVI ジャパン株式会社 代表取締役

【概要】 当センターの画像測定機の製造メーカーでもある米国の QVI 社の国内関連会社である QVI ジャパン株式会社の代表取締役であり、DMSC の会合にも参加されている講師から、3DA に関する最新動向を御紹介いただきます。

定 員	会場：40名 / オンライン：応募状況により調整
参加費	無 料
主 催	京都府中小企業技術センター

申込方法 ホームページの申込フォームから (<https://www.kptc.jp/>)
※御記入いただいた個人情報は、本セミナー受講者名簿として利用させていただきます。
※申込受付後、記入いただいたメールアドレス宛て、受付完了のご連絡をさせていただきます。
(申込後1週間程度経過しても連絡が無い場合は、お手数ですが担当者までご連絡ください)

お問合せ先 京都府中小企業技術センター 基盤技術課 設計計測係 (廣瀬)
TEL 075-315-8633 E-mail keisoku@kptc.jp



～受講にあたっての注意事項～

- ・オンライン参加は、**1事業所1接続**をお願いします。
複数名で参加される場合は、プロジェクタやスピーカ等のご準備をお願いします。
- ・録画、録音等の配信データの記録・保存は一切禁止です。
- ・会場には消毒液を設置し、会場の窓や扉の開放等による換気、他の受講者との間隔をあける等の対策をいたします。また、発熱等の症状がある方はご来場をお控えください。

【会場、交通のご案内】

場 所：京都府産業支援センター
京都市下京区中堂寺南町 134
(七本松通五条下ル)
京都リサーチパーク東地区内
アクセス：JR嵯峨野線 丹波口駅より 西に徒歩5分

